

# みなしご通信



## 栃木拠点 新猫舎へ引越す

2020年1月10日、犬猫みなしご救援隊栃木拠点の22名の中高年たちが張り切り、栃木拠点で暮らしていた猫498匹は無事に新・猫舎に引越すことができました。『犬のスペースを広げるためにここに猫舎を建てるか』私がなんとなくくそう思ったのがすべでの始まりです。昨年1月、私が書いた『なんちゃって設計図』を一級建築士の角田先生に正しい設計図に起こしてもらい、そこからいろいろなことが一気に動き始めました。昨年8月9日、株式会社・小出熱機工業元請けのもと犬猫みなしご救援隊・栃木拠点の猫舎新築工事が始まりました。



備も整いました。うちのスタッフは全員が専属の従業員ではなく、中には自分の仕事を休んで神奈川・東京・埼玉・福島からくる者があります。いよいよ引越し日を考えないと…年明けで『縁起のいい日』を探そう：1月10日、一粒万倍の日！この日に決めました。雨が降っても槍が降つてもこの日に引越す！そして1月10日を迎え

ました。見事に建った新猫舎Ⅱ写真上。壁のサイドディングが違うのは違う部分が『TNR病院』だからです。あえて『ほんの少し遊び心』で変えてみました。この後ロゴマークが入り、猫庭のすのこ45枚も敷きました。当分はひのきのいい香りです。すのこ30台も当日組み立てました。バタバタ中、私がやったのはサッシのガラスに『鳥ぶつかり防止』のテープを貼っただけ。

お昼過ぎ、いよいよ引越しの時間となりました。猫を捕まえてケージに入れる班とそれを新猫舎まで搬送する班と個体識別する班と猫部屋で放す班とに分かれました。人馴れしていない子も多いのに予想以上にスムーズに進み2時間で498匹全員のお引越しが終わりしました。お引越し直後の猫庭Ⅱ写真下Ⅱです。全体的に4倍もの広さになったので『猫：少なっ！』ガラガラです。総勢22名の中高年たちが頑張ってくれ



ました。これまで言ってきたことの繰り返しになります。うちののために毎月コツコツと支援金を送ってくださっている支援者さまの汗と努力のたまもので完成した犬猫みなしご救援隊・栃木拠点の新猫舎は私が理想としている『1人1人の小さな力を結集させると、とてつもなく大きな力となる』を体現しています。この度、めでたく完成した栃木拠点の新猫舎は★犬猫みなしご救援隊という動物愛護団体が『支援金を無駄にしない』ことと『動物第一主義』だということを証明してくれ★うちで暮らす猫た

ちの生活の質はますます向上し★『内が充実するため』私が思う存分『外で活動すること』ができることになります。新猫舎建設による相乗効果は相当なものとなります。

世の中には行き場のない子もつとつとおるし、私が『外でやりたいこと』は山のようにあるし、新時代が来るといっているので保護施設内の大改修を考案し『令和の大改修事業』と名を打ち広島本部の改修から始まり（広島本部もまだ改修途中）栃木拠点の大掛かりな猫舎の新築という壮大な計画からの実行、そして環境ストレスに弱い猫たちの移動、それらがようやく一段落つきました。

こんな破天荒な中谷百里の考えを支持してくださりたゆまぬご支援を施してくださっているみなしご救援隊の支援者の皆さま、本当にありがとうございます。皆様のおかげでうちの猫たちは幸せに暮らすことができます。

# 栃木の電話番号

犬猫みなしご救援隊・栃木拠点は新猫舎の建設に伴い敷地面積がこれまでよりずいぶんと広くなり固定電話を使用することが難しくなったので、携帯電話を窓口とすることにし、既存の固定電話はFAX専用に致しました。新電話番号080(3522)3745、FAX0287(74)5039。

# 豚コレラの謎

豚コレラという言葉が最近よく聞きますが、その名前どおり豚のコレラで人間にはうつらないし、豚コレ



ラに罹患した豚の肉を食べても人体にはなんら問題がないんだそう。なのに農場で豚コレラが出たら全頭処分：なんで？人間は大好きですね《とりあえず全頭処分》するのが。人間は頭がええハズなのになぜか動物を殺すための薬剤は作り出すけど動物を助けるための薬剤はなかなか作らん。

全頭処分になると豚の農場は困る：困るから《その前に》対策をとる：その対策のひとつが、それまで問題なく農場にいた野良猫の処分。この子たち《写真》がいた農場も豚コレラウイルスを野良猫が《伝播するかも知れない》という理由で農場から野良猫を《排除すること》が決まり、従業員が個人的にうちに連れて来ておられるのです。別の農場からも従業員が個人的に野良猫を捕まえては連れて来ておられます。《ウイルスを伝播するかも》こんな理由で野良猫を処分して豚コレラ問題は解決するんですかね？

# にゃんまるのわ



宇都宮市で《にゃんまるのわ》贈呈式に参加しました。これはパチンコ店経営者の投票で順位を決め、それに応じて寄付をしていただけという大変ユニークでかつ厳しいほどフェアな社会貢献活動です。

第2回目の今回、なんと犬猫みなしご救援隊は栃木県内で活動している33団体の中で驚きの1位になりました。去年の7月〜11月に那須塩原店・黒磯店・小山千駄塚店の3店舗で獲得した票数は10409票。単純計算すると、3店舗にお越しになった方の中から毎日68名が犬猫みなしご

救援隊に投票してください。襟を正し、今以上に動物愛護道をまい進せにやくならんです！栃木マルハンさまより15万円のご寄付をいただきました。那須塩原店の方からは「ぜひ連覇を」と言われま

した。第3回はすでに始まっているので、前述の3店に行けそうな方はぜひ犬猫みなしご救援隊に1票をお願ひいたします。アミューズメント系企業の社会貢献活動に参加させていただくとでいろんな団体様とつながることできますし、違った世界の方々に動物が置かれてる現状を知ってもらえるチャンスでもあるので私は積極的に栃木マルハンの社会貢献活動《にゃんまるのわ》を宣伝できたらと思っております。

# 3月の予定

3・4日 山形TNR  
5・6日 秋田TNR

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)  
**犬猫みなしご救援隊**  
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊  
〒731-0234  
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2  
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ  
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる  
**かざして募金**  
JAPANGIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。  
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願ひいたします。